

# 港区稲永学区

## 震災避難行動マップ

### わが家の津波避難先

①

②

津波避難先は、避難者の殺到に備えて、あらかじめ2か所以上考えておきましょう



### 凡例

- 広域避難場所
- 一時避難場所
- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 地下式給水栓
- AED
- 防潮壁

### 避難生活 指定避難所

災害が落ち着いた後、自宅が被災して自宅生活ができない場合、一定期間、避難生活を送るための施設（主に公立の小中学校や一部の高校の体育館、コミュニティセンターなど）

施設名称	避難場所	収容人数
① 稲永小学校	体育館、特別活動室(ふれあいルーム)	502
② 港南中学校	体育館	567
③ 稲永コミュニティセンター	第1、第2会議室	40

## ～稲永学区にお住まいの方へ～

### 備蓄品・非常持出品の準備

⇒避難所には収容者数の3日分の備蓄しかありません。南海トラフ巨大地震による被害は広範囲に及ぶため、物資補充の停滞も想定されます。大規模災害に備えて、自分の必要なものを確認し、一週間分を目安に用意しておきましょう。

### 「避難者カード」を持って避難

⇒稲永学区では大規模災害に備えて「避難者カード」を作成しました。「避難者カード」は、在宅避難を含む避難者の情報を避難所に登録することで、大規模災害発生時の混乱期にも、いち早く地域住民の安否を確認することや、必要な支援をすることを目的としています。

あらかじめ必要事項を記入し、持ち出しやすいように玄関や非常持出袋にて保管しておきましょう。





# 大規模地震、津波発生時の行動について

## あらかじめ確認

わが家の被害想定を確認しましょう

津波の想定浸水深 \_\_\_\_\_ m (あらゆる可能性を考慮した最大クラス)

□ 「津波ハザードマップ」でチェック (区役所で配布)

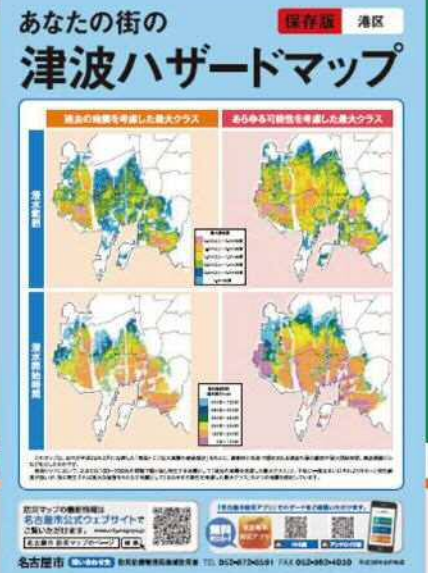
□ パソコンをご利用の方は [こちら](#)

□ スマートフォンやタブレットをお持ちの方は「名古屋市防災アプリ」でチェック

Android端末をご利用の方は [こちら](#)

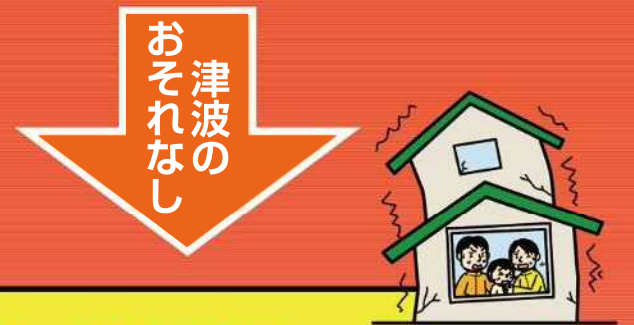


iPhoneをご利用の方は [こちら](#)



## 発災時の行動

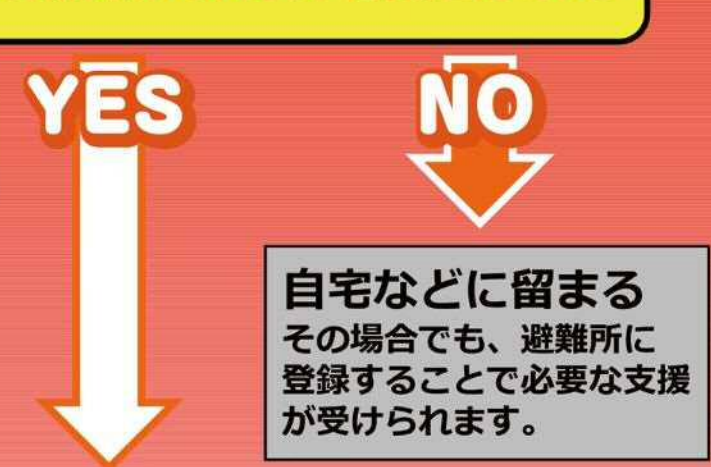
# 地震発生



津波の浸水想定区域にいる

NO

余震が続き、避難が必要  
例) 建物が傾いていたり、亀裂が生じている



指定緊急避難場所 (津波)  
【津波避難ビル】  
裏面のマップでチェック  
わが家の指定緊急避難場所

指定緊急避難場所 (地震)  
【小中学校グラウンド、広域避難場所など】  
裏面のマップでチェック  
わが家の指定緊急避難場所

避難情報が解除されるまで安全な場所で待機しましょう。

用意した備蓄の内、3日分を持って避難しましょう。

## 大津波警報の解除など、災害のおそれがなくなる

自宅が被災 (浸水・倒壊など) して、帰宅不可



NO

帰宅

YES

指定避難所  
裏面のマップでチェック  
わが家の指定避難所

避難所の受付に持参した「避難者カード」を提出しましょう。